令和５年７月１日に思う

「長靴の売れ行きが好調」とか。大雨への警戒が高まる季節を前に防災グッズの売れ行きが好調のようです。すでに６月初めに台風２号、３号が発生。梅雨前線の影響で雨が強まり、多くの地点で 24 時間雨量が観測史上最多を更新し、土砂崩れや住宅の浸水が相次ぎ、各地で甚大な被害をもたらしました。

その際、またも猛威をふるったのが線状降水帯です。昨今たびたび起こるこの雨は、「次々と発生する発達した積乱雲が、列をなして組織化した積乱雲群によって、数時間にわたりほぼ同じ場所を通過または滞在する雨域のこと」をいいます。気象庁は今年から線状降水帯の発生について、最大 30 分前に直前予測を出すとしました。本来、線状降水帯の発生には水蒸気量や湿度が複雑に関係し、そのメカニズムもよく分かっていないようでありますが、予測を早めたことは歓迎すべきであります。何事も、早め早めの備え（行動）は大事なことであります。この際あらためて、村から配布されたハザードマップと睨めっこしながら、早めの避難を心掛け「空振りは許されても、見逃は許されない」を自分事として今一度考えるきっかけにしてほしいものです。

気象庁予測では、どうやら今年はスーパーエルニーニョの発生確率が高いようであります。山火事、熱波、猛暑、豪雨が懸念されます。「自分の命は自分で守る」ことを念頭に避難行動が「ムダであった」と言うより「空振りで良かった」と思えることを定着させたいと思います。皆さんのご意見をお聞かせください。